

令和4年度全国学力・学習状況調査 概観

令和4年4月19日に、全国学力・学習状況調査が行われました。

この調査は、子どもの学力や学習状況を把握・分析し、成果と課題を検証して改善を図るとともに、学校における指導の充実や学習状況改善等に役立てることが目的であり、全国の小学校6年生と中学校3年生が全員参加して行われます。

今年の4月は、全国的に新型コロナウイルス感染症が流行しており、本校6年生も多くの児童が当日欠席して後日改めて実施となりました。下記の結果は当日調査に参加した児童の集計結果で、参考的な資料です。本校では、後日実施した児童の結果と合わせて集計・分析していますが、公表資料とできるのは当日実施の分だけですので、ご了承ください。

調査は「国語」「算数」「理科」の3教科と、児童の家庭生活や学習意欲等に関わる「学習状況等」について実施しています。

1 3教科を概観して

○調査に当日、新型コロナウイルス感染症の流行により学級閉鎖があり、また欠席した児童も多かったため、調査に参加した児童は28名でした。

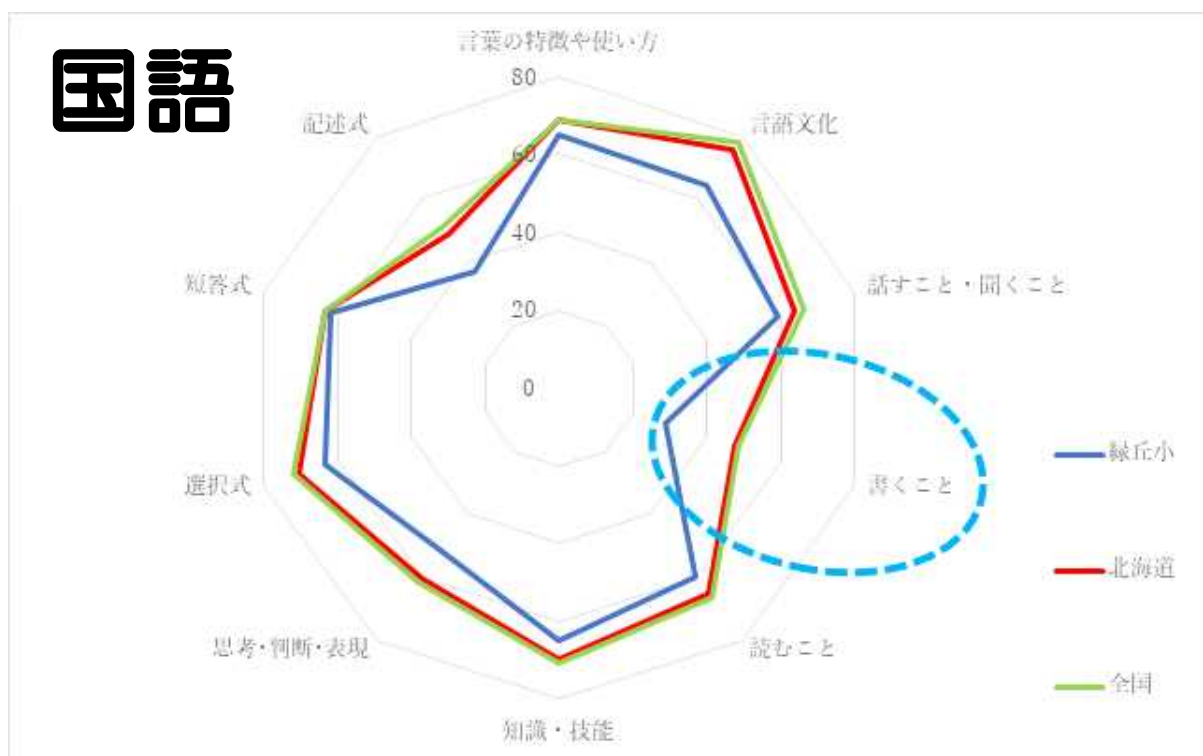
○本校の平均正答率は、3教科全てで全国・全道平均を大きく下回りました。各教科の分析結果は後述します。

○全国・全道と比べると、正答数の少ない（いわゆる「下位層」）の児童が多いのが特徴的です。

○次ページからのグラフでは、各教科の单元ごと正答率を、「全国（緑ライン）」「全道（赤ライン）」「本校（青ライン）」として重ねて表示しています。

○また、調査結果の考察から、今後授業で重点的に指導していきたいことを記載しました。家庭学習の参考にいただければ幸いです。

2 国語 「書くこと」に課題あり



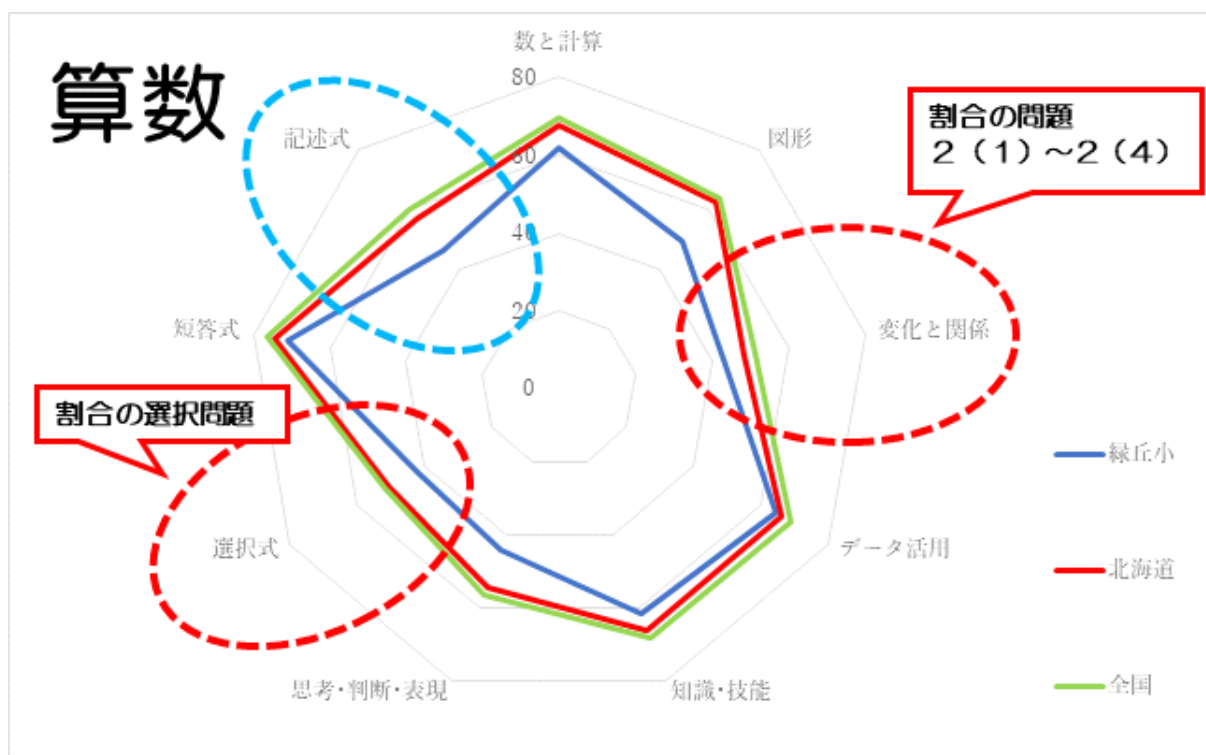
○本校の平均正答率は、全国・全道を大きく下回りました。

○問題文（本文）そのものは注意深く読もうとしているのですが、設問の意図や問われている内容を正確にとらえられていない児童が多いように思われます。

○誤答の大半は、問われていることと解答の内容が若干ずれているものです。考え方や答えの方向性は合っていても、解答の仕方に充分慣れていなかったり、設問の言葉（単語）の意味を誤解したりしているため、適切な解答になっていません。「読む術」「書く術」を身に付けるとともに、語彙力強化に努めることが必要です。

○これまで本校の課題であった「条件作文」は、昨年度より大きく向上して改善傾向にあると言えます。しかし、「書けない」というより「書く内容がずれている」児童も目立ちました。解答に必要な要素に印を付けて視覚的に整理したり、書いた内容が設問に合っているのかを見直したりすることを身に付けさせたいと考えています。

3 算数 基礎の定着と思考の整理



○本校の平均正答率は、全国・全道を大きく下回りました。

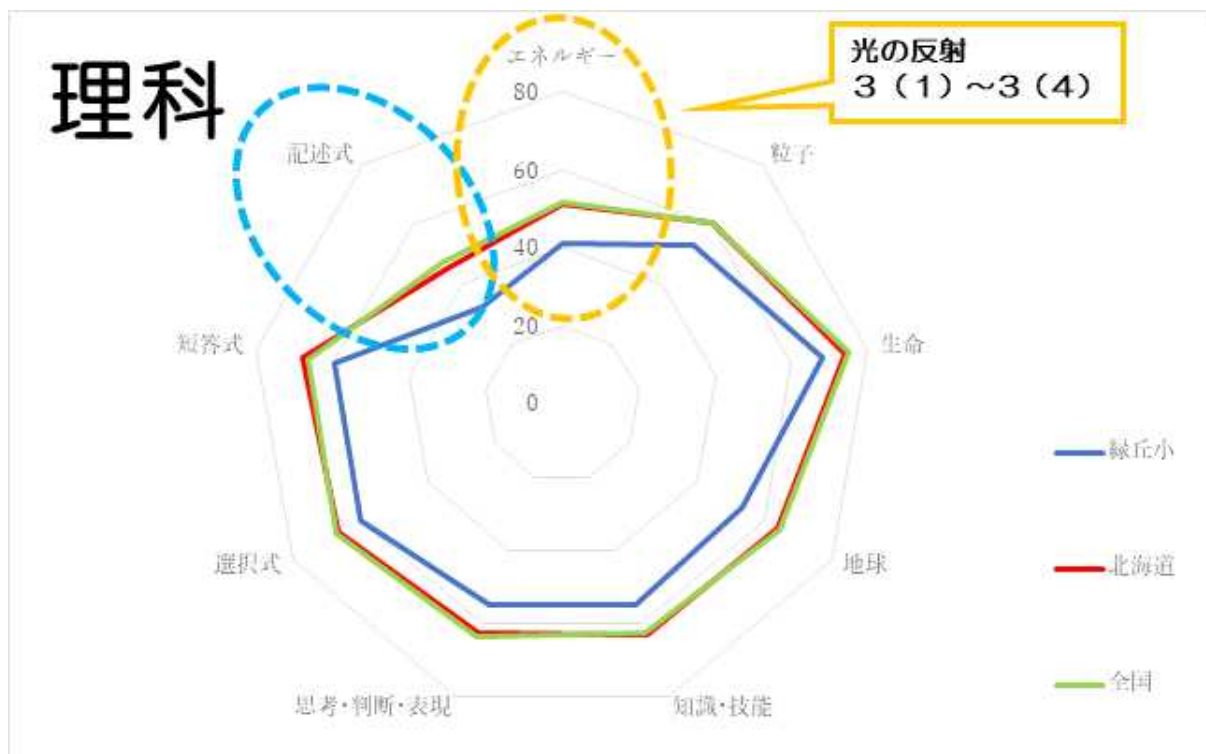
○「概数と四捨五入」「量と割合」等の用語を正確に理解していないための誤答が目立ちました。設問が「概数を求めると・・・」ではなく「四捨五入、切り捨て、切り上げのどれかで求めると・・・」なら分かりやすいですし、「ジュースの量が減ったら果汁の割合も減る」ではなく「ジュースの量が減ったらジュースが薄くなる」なら正解できたと思われます。教科で使用用語の意味を、的確に理解することが大切です。

○「正三角形の内角」や「直線の角度」、「分度器の読み方」等は、基礎的な知識や技能はあるのに適切に活用できていないと思われる解答が多くありました。角度の問題を考えると、併せて「多角形の内角」「円や直線の角度」「分度器の使い方」等も考えたり、図に書き込んで視覚的に確認するなど、解く術を身に付けることも重要です。

○思考の流れを説明する際に、目的と見通しをもって解き始めること、さらに「まず・はじめに」「次に」「よって」等の順序を表す言葉に沿って考えを述べたり書いたりして、自分の考えを整理していくことが大切です。

○「記述式」の問題は、国語科と同様に正答率が上がっています。ただ、書く前の「設問の読み取り」や「用語の理解」に大きな課題が見られます。

4 理科 設問を正しく理解しましょう



○本校の平均正答率は、全国・全道を大きく下回りましたが、国語や算数よりも差は縮まっています。

○設問が十分に理解できていないため、問題を難しくとらえてしまったり思い込みで解答したりしている児童が多いように思いました。

○また、設問を正確にとらえきれなかったため、もっている知識を生かしきれていない解答が多く見受けられました。問題によっては、「わざと間違いやすい表現をしている」ような出題の仕方も見られます。設問をよく読むことはもちろん、図や表の細かな部分までしっかりと見直し、確認する必要があります。

○「記述式」の設問には、国語科と同様に問われていることに的確に答えられていない解答が目立ちました。「設問をしっかり読むこと」が必要です。

5 学習状況 まずは規則正しい生活習慣を身に付けましょう

○「学習状況調査」は、児童の授業や家庭学習の様子に加え、学習意欲や家庭生活等に関わる69の項目からなる調査です。

○「朝食」「寝る時間」「起きる時間」など、全国・全道より低い結果でした。

○「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか」の設問に、「4時間以上」と回答した児童が33.8%あり、全国を15ポイントほど上回っています。また、「2時間以上」と回答した児童の合計が66%を超えています（全国は50%程度）。

○また、「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）」の設問に「4時間以上」と回答した児童が23.9%（全国10.9%）、「2時間以上」と回答した合計が49.3%（全国32.5%）でした。

○一方、「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」に「守っていない」「あまり守っていない」の回答が11.3%（全国5.9%）、「機器はもっているが約束はない」の回答が21.1%（全国11.2%）でした。

○「将来の夢や目標を持っていますか」に「当てはまる」との回答が69.0%と、全国の60.4%を大きく上回りました。

○一方で「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」に「当てはまる32.4%（全国38.8%）」、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」に「当てはまる23.9%（全国27.6%）」、「人が困っているときは、進んで助けていますか」に「当てはまる25.4%（全国44.9%）」という状況でした。

学力・学習状況調査の結果は、6年生だけでなく全校の教職員で共有し、それぞれの学習活動に生かしています。

これからも、児童の様子を踏まえて、目標を見据えながら具体的な指導を心がけます。保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。